

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 吉舎工場

(2) 事業所の所在地

広島県三次市吉舎町矢井10428-1

(3) 業種

綿・スフ織物業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和6年度から令和12年度までの7年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成30年度 (2018)	令和12年度 (2030)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
エネルギー 起源CO ₂	18,505	17,210 7.0	8,880 52.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	62	58 7.0	217 (249.9)	100.0	100.0	100.0	100.0
メタン	31	29 7.0	19 37.5	100.0	100.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	2	2 0.0	1 31.3	100.0	100.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0 0.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	18,600	17,299 7.0	9,118 51.0	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量		6,510 65					
実績に対する自己評価	生産の集約等エネルギー使用の合理化により、エネルギー起源CO ₂ が大幅に削減された。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産数量 百万m³

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 排出量総計							
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	省エネ活動の推進	電気の使用量を昨年対比 27.0%削減	・省エネ機器への更新 ・設備改善 ・エネルギー合理化
2	燃料使用量の削減	LNGの使用量を昨年対比 2.7%削減	・燃焼調整によるボイラー効率の向上 ・負荷側圧力の調整による蒸気使用量削減 ・蒸気漏れ、保温の剥離の修繕
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	産業廃棄物排出の削減	・再資源化率を昨年対比 -1.3%向上	・自社廃棄物の再資源化
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。